

(参考) (仮称)千葉市図書館ビジョン2040に対する図書館協議会での意見と対応

No.	発言者	意見要旨	対応
1	石渡委員	カタカナ言葉が多用され解釈がよくわかりません。 (コンテンツ、デジタルトランスフォーメーション)	●コンテンツ(P.13)図7に解説を挿入しました。 市民の知的好奇心を刺激する情報や本、本市独自の「知」など  ●デジタルトランスフォーメーション(P.1)注釈を挿入しました。 新しいデジタル技術を活用し、人々の生活に戦略的に新たな付加価値を生み出していくこと
2	伊藤委員 十倉委員	「知」の具体的なイメージが伝わりにくいです。今までの本による知識なのか、それとも市民が持っている様々な知恵や生活の工夫などを指しているのでしょうか。	「知」(P.9)に解説を挿入しました。 まちづくりに関わる活動を通じて得られた知恵や本市の歴史、文化  本市独自の「知」 → 「本市独自の知」に修正します。
3	伊藤委員	子どもたちの利用しやすい読書環境の整備について、具体的にはどうするのが伝わってきません。	具体的な施策については、来年度策定する第4次子ども読書活動推進計画に盛り込む予定です。
4	綾部委員	本編のコラムについては、実際の利用者の声と誤解のない形を何か考えていただきたいです。(コラムの冒頭に、「未来の図書館サービスとその利用者の声のイメージ」を追記するなど) また、「外国人の利用について」、「電子ブック、電子的な資料、データベースを利用して便利になった」話も入れていただきたいと思いました。	下記のとおり修正しました。 ①コラムを資料編からの項目から独立した章に変更 ②コラム冒頭に「未来の図書館と、それを利用する市民の声のイメージです」追記  外国人の利用等に関するコラムを追記します。
5	十倉委員	「デジタルアーキビスト」という言葉がよくわかりません。	注釈を追記します。
6	石渡委員	そもそも図書館の資料は、回転数の高低が評価になるのでしょうか。公共図書館の専門家の意見をもっと反映させてほしいです。	回転数の低い資料は廃棄するわけではなく、保存場所の見直しを行います。 保存場所の見直しに伴い空いたスペースは、これまでない市民のミーティングルーム等を設置し、一層の有効活用をしていきます。
7	綾部委員	単に電子化するだけだと、世の中にある膨大なデジタル資料の中に埋もれるので、検索システムを作る必要があります。 集める資料としては、千葉市史は膨大な資料があり、千葉市のコンテンツになると思うので、公開すると研究者にとって非常に重要になると思います。また、聞き取り調査した文字や音声のデータを、データベースで公開することも非常に重要です。	事業を展開していく中で、実施を検討していきます。
8	十倉委員	「みずほハスの花図書館」について、図書館ができるかと喜んでいましたが、直前で窓口業務委託になると聞き、自分たちの地域の図書館ではないというのが第一印象でした。もし、そういうことになるのであれば、ぜひ市民に早く知らせて、意見交換などをしていただきたいです。	関係機関などと協議を行った上で、慎重に検討していきます。

※ 第3回図書館協議会の中で、事務局が回答したと思われる事項は除いております。